

## 令和2年度津商工会議所経営発達支援計画の実績報告書

■評価対象期間		令和2年4月1日～令和3年3月31日（12ヶ月間）			
■評価項目					
◎ 数 値 項 目	実施状況	令和2年度実績			昨年度実績
	項 目	実績（A）	目標値（B）	達成率（A/B）	（参考）
	1 地域動向調査（公表回数）	2回	2回	100%	2回
	2 経営分析事業者数	125社	120社	104%	54社
	3 事業計画策定事業者数	269社	90社	299%	91社
	事業計画策定件数	422件	—	—	120社
	4 計画策定後の支援事業者数	116社	90社	129%	—
	（1）フォローアップ回数（カルテ数）	1,310回	360回	364%	564回
	（2）売上の増加事業者数	—社	—社	—%	—
	（3）利益率の増加事業者数	—社	—社	—%	—
	5 個社の需要動向調査件数	0社	10社	0%	—
	6 新たな需要の開拓に寄与する事業への参加企業数	7社	25社	28%	—
◎ 事 業 項 目	実施状況				
	1	地域の経済動向調査に関すること 地域の経済動向を把握するため、年2回（1～6月期、7～12月期）景況調査を実施し、「津市の景況」を取りまとめた。 また、小規模事業者のみを抽出し、県内12商工会議所のデータを集計した結果を「三重の景況」としてプレスに発表し、8紙が記事として取り上げた。			
	2	経営状況の分析に関すること 経営分析シート、独立行政法人中小企業基盤整備機構の経営自己診断システム等を活用した経営状況の分析125社行った。			
	3	事業計画策定支援に関すること 事業計画策定事業者数は、269社に対し、三重県版経営向上計画作成支援を53件（ステップ2は33件、ステップ3は20件）、小規模事業者持続化補助金の申請に係る事業計画作成支援を173件、三重県の経営向上支援新型コロナ危機対応補助金の係る計画策定支援を94件、小規模事業者経営改善資金融資（マル経）に係る簡易返済計画（経営計画書）策定が34件、三重県新型コロナ危機対応事業継続・緊急支援補助金42件、三重県地域企業再起支援事業費補助金21件、事業継続力強化計画、経営力向上計画、先端設備等導入計画等の策定支援5件の合計422件の計画策定支援を行った。			
	4	事業計画策定後の実施支援に関すること 事業計画策定事業者数269社の内、116社に対して巡回・窓口において事業計画支援の必要性や作成に関する相談、計画のブラッシュアップ等のフォローアップを延べ1,310回行った。 （2）売上の増加事業者数・（3）利益率の増加事業者数に関する項目は、令和2年度実績が確定した翌期（令和3年度）に実績値として計上するため今回の実績は未計上とする。			
	5	需要動向調査に関すること 新型コロナウイルス感染症の影響から需要動向調査を行うイベントの中止等により需要動向調査が実施できなかったため実績はなし。			
	6	新たな需要の開拓に寄与する事業（事業計画作成支援した企業に対する参加企業） 津まつり（津YEGエリア）、ミナツドエが中止となり、支援先企業の出店はなかった。 また、支援先企業の会報誌の会員情報ボードによる情報提供が3件、販路開拓による専門家派遣の実施が2件、商取引支援サイト「ビジネスモール」への新規登録が2件あった。			

## 法定経営指導員 所見（村田浩二）

令和2年度の経営発達支援計画の目標値に対して「2経営分析事業者数」「3事業計画策定事業者数」「4計画策定後の支援事業者数」は達成しています。要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響により補助金等の支援施策に係る三重県版経営向上計画の策定が必須になったことによるものであります。

「5需要動向調査に関すること」「6新たな需要の開拓に寄与する事業」については、当初計画していた津市主催の創業イベント「ミナツドエ in 津」や津まつり等のイベントが中止となったため調査ができなかったことに加え、コロナ禍による感染防止の観点から個社支援にかかる時間的な制約もあり、実施できない状況にありました。その反面、小規模事業者の支援ニーズの高い、補助金等の事業計画策定に加え、新型コロナウイルス感染症関連施策に係る計画作成支援が増えたことから「2経営分析事業者数」「3事業計画策定事業者数」「4計画策定後の支援事業者数」の目標を大幅に上回る結果となりました。

## 外部評価者のコメント（一般社団法人三重県中小企業診断協会 井上 俊一（中小企業診断士））

### I 総論

津商工会議所が、平成27年度から5か年に亘り取り組んできた「津商工会議所経営発達支援計画（第Ⅰ期）」は、令和元年度をもって終了しましたが、ごく一部の項目を除き、当初計画数値を達成され、当初の狙いであった「伴走型の経営支援」を推進するけん引役を果たしたものと思われま

す。  
令和2年度より、新たに津市（商工観光部）も巻き込んで企画された、令和6年度末までの「津商工会議所経営発達支援計画（第Ⅱ期）」では、「1需要開拓と高付加価値化への新たな事業計画の策定支援」「2目標達成できるまで粘り強く支援」「3津市や各支援機関との連携による切れ目のない創業、事業承継支援」を目標としており、第Ⅰ期で実施した支援実施体制の継続と支援の実効化を高めることが内容となっています。第Ⅱ期は、まさに「伴走型の経営支援」の真価が問われる5年間となるろう。

### II 令和2年度における各事業項目に対するコメント

各事業項目の達成状況は、特殊な要因があるものを除けば、総じて良好な結果となっている。

#### 1 地域の経済動向調査

毎年実施している「地域の経済動向調査」は本年度も上・下、年2回確実に実施し、プレス発表した結果、8紙が記事として取り上げた。毎年の定点観測として結果を蓄積し、変化を把握できるよう、今後も継続いただきたい。

#### 2 経営状況の分析

経営分析実施事業者数は125社（目標比104%）となった。本事業は、事業を客観的に見ることの苦手な中小企業にとって、「気づき」のきっかけとなるものであり、その意義は大きい。

#### 3 事業計画策定支援

目標90社に対し、269社（目標比299%）と大幅な達成となった。担当者は『新型コロナ対応の補助金関係があったから』と謙遜するが、三重県版経営向上計画作成支援53件（ステップ2が33件、ステップ3が20件）にまで持って行けたことは、大いに評価できる。

#### 4 事業計画策定後の実施支援

これも目標90社に対し、116社（目標比129%）で実施している。また、計画策定後のフォローが1,310回（目標比364%）に及ぶことは称賛に値する。今後も、「経営分析→事業計画策定→策定後のフォロー→結果の検証→必要なら再計画策定」というサイクルを回していただきたい。なお、計画初年度であるため、「売上増加事業者数」、「利益率の増加事業者数」の計画及び実績はないとのこと。

#### 5 需要動向調査

新型コロナウイルス禍により、需要調査を行うイベントが中止となったことから、実施されていない。

#### 6 新たな需要開拓に寄与する事業

「津まつり」、「ミナツドエ」が中止となり支援先企業の出店を促すことはできなかったが、会報誌への情報掲載3件、販路開拓の専門家派遣2件、「ビジネスモール」への新規登録2件等は行っている。